



フランシスコ教皇と挨拶を交わす宮原司教

日本カトリック司教団の使徒座訪問（アド・リミナ）

―宮原良治司教からの報告―

日本の司教団は、去る3月19日から27日までバチカンの「使徒座訪問」（アド・リミナ）を実施しました。「使徒座訪問」の主目的は、①教皇様との面談、②聖ペトロ聖パウロの墓参、③バチカンの各省庁や評議会の訪問、④日本に宣教者を派遣している修道会や宣教会の総長との懇談、⑤駐バチカン日本大使との面談などです。

「使徒座訪問」の初日は、フランシスコ教皇と全司教との面談が行われました。1時間半に及ぶ外からの移住者の対応、原

会談中、日本の教会の現状や課題などを報告し、教皇様から示唆に富むご意見やご指導を頂きました。張り詰めた緊張感や形式張った雰囲気ではなく、むしろ和やかな雰囲気の中で、教皇様と日本司教団が相互の信頼と尊敬を深め合い、より一層の親近感を強めることができました。

教皇様を囲んで共有し合った主な話題は、日本の教会に混乱をもたらした運動のこと、司祭・修道者の召命の問題、家庭の課題、カトリック学校の現状、海外からの移住者の対応、原

発の問題、平和の取り組みなど、盛り沢山の話題を共有し合うことができました。日本訪問への懇願に対しては、否定も肯定もなく、ただ微笑みながら「ありがとう」の返答だけでした。

二日目からは国務長官との懇談を皮切りに、典礼秘跡省、列聖省、福音宣教省を全司教で訪問し、その他の省庁や評議会は数名で手分けして訪問しました。私は、教理省、法文解釈評議会、諸宗教対話評議会、最高裁判所、バチカン図書館を訪問しました。各省庁や評議会の訪問の目的は、相互の情報交換を通して具体

的な課題や困難を理解し合い、その対応を協議するためです。協議の結果、結婚問題に関するバチカンへの手続きの簡略化などで幾つかの承諾を頂き、大きな成果がありました。聖ペトロ聖パウロの墓前では、ローマ滞在の日本人と一緒にミサ聖祭を捧げ、使徒の後継者としての司教の使命と責任を再認識しながら、全司教がその墓前で心を合わせて信仰宣言をしました。

「使徒座訪問」を通して、教皇との絆を堅固にし、その交わりと一致を深めながら、全世界の教会との連帯感を強める良い機会となりました。

教区創立以来初の韓国出身司祭誕生 「共にいることの出来る司祭に」



叙階された李昇炫新司祭と喜びのご家族と司教

4月12日（神のいつくしみの主日）に、ベトロ李昇炫（イ・スンヒョン）助祭の司祭叙階式が宮原良治司教主式のもと、カテドラル大名町教会で行われた。大聖堂には韓国から家族や出身教区の司祭や信徒もかけつけた。福岡教区内外からの司祭と修道者、信徒など900余人が参列した。司教への従順の約束の後、宮原司教につききり参列した。司教への従順の約束の後、宮原司教につききり参列した。司教への従順の約束の後、宮原司教につききり参列した。

カテドラルの喜びを告げる鐘の音と共に、「遠く地の果てまで」の聖歌に乗って、約80人の司祭団、侍者、イ・スンヒョン助祭、宮原司教が入堂した。宮原司教は式の始めに、「司祭として召命を受けた人が完成の時まで、神の民に働くための力をお願いしよう」と会衆に呼びかけた。

叙階の儀は、司祭候補者の選出・司教の説教・司祭に叙階される者の約束（司教への尊敬と従順）と続き、『選ばれた人に神の賜物があるように』と諸聖人の連願が行われた。次に、司教が按手して新司祭が誕生した。続いて、参列した司祭団は新司祭を迎えるしるしとして按手をした。その後、「司教の協力者として神のみ言葉を述べ伝え、秘跡をもつて神の民を養い、キリストを模倣した生活ができるように」と、司教による叙階の祈りが唱えられた。

誕生した新司祭は、新しい司祭服に身を通し、拍手の中で迎えられた。新司祭には聖香油が塗られ、父と子と聖霊の神の賜物が願われた。更に、ミサを挙行するためのパテナとカリスが授与された。感謝の典礼に入り、母親と弟が運ぶ奉納物を司教と共に受け取った新司祭は共同司式を務めた。

拝領祈願の後、祝賀式典があった。まず、司祭団を代表して深堀勝人神父（湯川教会）が、「教区創立以来、初めて外国人司祭が誕生しました。新司祭を喜んで迎えます。孤独にならないように温かく見守っていききたい。新司祭も私たちに甘えてください」と歓迎の挨拶をした。続いて、教区信徒代表の稲葉人志氏は、日本語と韓国語で「司祭召命が少ないと嘆かれています。新司祭誕生は私たちに与えられた大きな恵みです。イエスのみ心の実現のために頑張ってください。神の恵みの中で司祭の道を歩んでいかれるように祈ります」と喜びの挨拶をした。

新司祭は、司教と司祭団に、そして参列した会衆にお礼を述べ、「イメージしたより盛大な叙階式に緊張しっぱなしでした。これまでありがとうございました。カードに書いた通り、自分のモットーは『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい』です。『共にいることの出来る司祭』でありたいです」と抱負を語った。そして、会衆を祝福した。

それから参列した関係者を紹介した。母親を祝福し、感謝を表す新司祭の姿に一同感動し、目頭を押さえる場面があった。

式典の後、司教からの挨拶と祝福で叙階式のミサが終了した。尚、ミサには、韓国の新司祭出身教会から信徒・修道者35人と同級生司祭、先輩司祭・出身教会主任司祭など約20人も加わった。

ミサ後のパーティーは一階の講堂で行われた。埋め尽くされた会場で、司教の食前の祈り、司教総代理の平田敬神父（光丘教会）の乾杯の発声があり、参加者は準備された食卓で歓談した。途中、韓国からの女性と福岡地区女性の会が歌を披露し、会場の雰囲気盛り上げた。新司祭は祭服のまま、笑顔で参加者の喜びを受け留めていた。

尚、パーティーでは、司教から新司祭の新任地が発表された。イ新司祭は小倉教会と門司教会の協働司祭として務めることになった。

新司祭の母親は「うれしい、人生で一番嬉しい日」と言う。司祭への道のりが長かったこ



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

5月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】苦しんでいる人々
【宣教】使命に開かれて
【日本の教会】平和憲法の尊重

時の話題

具体的な生活を通して

神は、わたしたちにいつも語りかけています。様々な出来事、出会う人々を通して、神は呼びかけ続けています。ますます深く感じています。修道生活や奉獻生活と聞いて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。規則正しい祈りの生活は、他の多くの生活スタイルからはかけ離れた「別世界」のように思われるかもしれませんが、それも修道生活のひとつの側面です。修道院での生活を

通して思うのは、人は奉獻生活という兄弟姉妹との具体的な生活を通して、神に向かって成長していくということです。時々、なぜ神はわたしのような者を選んだのだろうかと思惑に思うことがあります。けれども、わたしは兄弟たちとの具体的な生活、家事や祈り、外での奉仕職を通して、兄弟のうちに神を見出し、みことばを聴くことの喜びのうちに成長させていたにすぎません。わたしたちは、修道院に生活しているだけでは聖なる者ではないでしょう。しかし、共に過ごす兄弟たちを通していただく神の恵みのうちに、聖なる者となるように招かれていると実感します。

奉獻生活は古今東西世界中のキリスト者とのつながりも深く実感させます。今から1629年前に回心した聖アウグスチノの旅と、わたしたちの旅は神のうちにつながっています。神は一人ひとりに違う仕方でも語りかけますが、すべての人は神のうちにつながっているとの確信は、日々受ける愛のうちに強まります。

これからの愛なる神へ向かってたゆみなく成長し、奉仕に生きることができるよう、わたしたちアウグスチノ会の兄弟たちのために祈りください。

聖アウグスチノ修道会
神学生 松尾太

とについては、「心配はしました。しかし、ただ祈るのみ。神と息子を信じました」と語る。日本で司祭職を生きることにについて尋ねると、「神様のみ旨だと思えます」と、聖母マリアの姿を思わせた。

イ新司祭の弟は、長い助祭期間のさまざまな思いが蘇ってくるという。その過程を知ることこそ、喜びはひとしお。『兄は正義感の強い、保護者。これから良い司祭になつてほしい』と語った。

家族・共同体によって育まれるキリストの弟子。新司祭のために祈る。

☆ベトロ李昇炫（イ・スンヒョン）
1981年2月8日生まれ。
2007年2月15日 韓国カトリック大学（ソウル大司教区）神学部卒業。12年3月、来福岡。福岡司教館、次いで福岡大名町教会に居住し助祭職を果たしながら日本語学習。14年4月、日本カトリック神学院東京キャンパスにて助祭コース受講。11月、ソウル大司教区より福岡教区に転籍。15年2月、同コース修了。



「虹」を見た。創世記の「神の約束」を思い出した。それは、荒廃した社会に鉄槌を加える神のお叱りの洪水の後、「生き物すべてを滅ぼす洪水は二度と起こすまい」とする神の約束のしるしであった。それは、神からの慈しみと平和の象徴となった▼ある男性が亡くなった。亡くなる前に信者である娘がその父親の生命の危険を察知して洗礼を授けた。娘の話では「父は、『いつか洗礼を受けたい』とか、『我が家はカトリックだからね』などと言っていたということだ。娘は父親のその言葉を覚えていたのである。おかげで、父親は死後、神の御許（もと）に行くことができた。葬儀も教会で行われた。娘は父親孝行をしたことにな。なぜなら、父親を永遠の幸福の国、天の国に導いたことになるからである。霊柩車で火葬場に向かう途中、山手に大きな虹がかかっているのが見えた。だんだんと近づいてくる。後に続く車もきれいな虹の下をくぐった。火葬場についた時、皆は開口一番、「きれいな虹だったね。感動した。神様のプレゼントだね」と話していた。人の死に対する重い気持ちだが、いつべんに晴れていくようだった。「神様が、亡くなった人のことは心配するな。私が喜びを与えてあげるからという約束のしるしだね」と参列者は話していた。父親への授洗は、娘のもっている信仰の証であった。一方で、いつかキリストの救いに与りたいとの父親の望みは叶えられた▼人の最高で最終的な目的は天の国に入ることである。そのための道を見つけてあげよう。まだ知らない人へ。

（S）

一聖香油ミサー 油注がれて神に選ばれ、一致する民

“司教が司教区内から集まった司祭とともに共同司式し、香油の聖別とその他の油の祝福を行う聖香油ミサーは、司教の祭司職の充満をよく表すものの一つであり、司教と司祭の深い結びつきを示すしるしである。”
(「聖香油のミサー」緒言より)



油に息を吹き込む宮原司教

別の祈りを唱え、聖霊が注がれ、油は聖別される。

4月1日(水)、カテドラル大町教会にて聖香油ミサーが行われた。宮原良治司教主式、教区内の司祭約60人が共同司式。平日にもかかわらず、約300人の修道者・信徒が集った。

ミサーの中で、秘跡の執行に必要な三種の油(病者の塗油に用いられる紫の布に覆われた香油、洗礼などに用いられる赤い布に覆われた香油、叙階式・聖信式に用いられる白い布に覆われた聖香油)が聖別された。司教が香料(バルサム)の混ぜられた油に口を近づけて息を吹き込む。司祭団一同も手を差し伸べる。祝

説教で宮原司教は3月末の使徒座訪問について触れ、「従順のないうちにキリストはいません」と従順の大切さを説かれた教皇の言葉を紹介し

聖パウロ女子修道会 「奉献生活の年」に創立100周年を迎える喜び

『教会憲章』および『修道生活の刷新適応に関する教令』の公布50周年を記念して、教皇フランシスコは2014年11月30日から2016年2月2日(主の奉献の祝日)までを、「奉献生活の年」と定めました。

この特別年が目指しているものは、感謝をもって謙虚に過去を振り返り、「わたしにとって生きるとはキリストである」(フィリピー1・21)と言えるまでに福音を生き、希望を持って未来に向かうこと。「恐れるな、わたしはあなた方とともにいる」(エレミア1・8)。この言葉に全幅の信頼をおいて前進

た。「十字架の死に至るまで従順だったキリストに倣うことができるように共に祈りましょう」とミサーを続けた。

ミサー後、司祭叙階60周年・25周年を迎える4司祭のお祝いもあり、大名町教会講堂にて祝賀会が開かれた。祝賀会では4司祭に教皇からの祝福のメッセージが贈呈された。4司祭は挨拶をし、それぞれに感謝の言葉を述べた。W・キッペス神父は挨拶の始めに「しあわせなら手をたたこう」を歌い、会場を喜ばせると共に、司祭職と与えられている使命を生きて喜びを全身をもって表現した。(4司祭の叙階60周年・25周年にあたってのメッセージは先月号の教区報に掲載。)

司教は4司祭に特別の感謝の意を示し、これからもそれぞれの場で、生涯をかけて司祭職を全うしてほしいと述べた。多くの信徒もなごやかに歓談し、喜びをともにした。

司教によって祝福される油が、司祭によって各小教区に持ち帰られ、神の民に塗油される。祭司職の神秘と、司教と司祭団の一致、教会の一致に思いを馳せる日となった。

することではないでしょうか。聖パウロ女子修道会が迎える創立100周年にとっても、全く同じことが言えます。わたしたちにとって大きな恵みの時、聖霊の働きの場、さまざまな貧しさの中で主に心を開き、未来に向かってチャレンジすることだと思えます。教皇フランシスコが呼びかけられる新しい歩み、喜びに生きるとは共にいられる方との親密さ、関わり、深さを問われているのではないかと感じます。わたしたち一人ひとりを召された方に心からの信頼をおき、希望を持って新たな歩みに取り組んでいます。

Sr.谷口厚子

復活祭に受洗のめぐみ キリストと向き合い、キリストと共に



白い衣を受け平和のあいさつを交わす伊藤達也さん(カテドラル)

4月4日(土)の復活祭、5日(日)の復活祭にて、今年も福岡教区の各小教区において多くの人が洗礼の恵みにあずかり、キリストを中心とする私たち家族の仲間に加わった。神はふしぎな業を、「今もいつも世々に」おこなわれる。

樫 俊次 氏

(佐賀教区)

今回、洗礼を授かるにあたって、主任神父様・教会関係者の皆さまには、多大な祝福と協力を授かりまして、この良き素晴らしい日・良き生命を頂いた事を、この場を借りて熱く御礼申し上げます。

私は洗礼を授かる前は他宗教でした。実家がカトリック信者の妻と出会い、宗教が変わることに不安もありました。しかし、主任神父様と一緒にキリストと向き合っていく中で、日に日に私の内なる何かが大きく変わり、その結果、人々の生命に対して心豊かになり、勉強期間に舞い込んだ社会で生きていく中での悩みなどが自然と良き方向・結果へと導かれていきました。

最後になりますが、現在、日々キリストと向き合っていることで、「今を生きている」事を実感しております。不安もなく、新しい人生のスタートを切ることができました。新たな生命を授かり、現在充実した日々を送る事が出来ております。

泉 利雄 氏

(笹丘教会)

私は、平成27年4月4日の復活夜祭で笹丘教会にて成人洗礼を受けました。神父様方を始め笹丘教会の信者様方のおかげをもちまして大変立派な式を挙げて頂き心から感謝いたしております。

私とカトリックとの出会いは、20年程前に妻と結婚したことから始まります。妻の家庭は家族全員がカトリック信者で、特に両親が熱心な信者です。両親は色々な人生の困難に出会った時、常に自分たちを支えてくれたのは信仰だったと、常々仰っておられます。

松浦悟郎司教 名古屋教区司教に



バチカンでは3月29日、教皇フランシスコがミカエル松浦悟郎補佐司教(62才)を名古屋教区の司教に任命したことを発表した。アウグスチノ野村純一現司教の後任となる。

松浦悟郎司教は1952年、名古屋生まれ。81年に司祭叙階。幾つかの小教区で働き、大阪カトリック神学院の院長も務めた。95年の阪神淡路大震災後は救援活動に尽力。99年7月17日に司教として叙階された。司教協議会では、「日本カトリック正義と平和協議会」を担当している。

着座式は6月13日(土)午後1時、名古屋のカテドラル布池教会で行われる。

私ですが、受洗に際しては本当に多くの方が喜んでくださいました。家族でミサーに与れる幸せを得て心からうれしく思います。

フランススコ教皇は復活祭に「ご自身の死と復活によって、イエスはあらゆる人にとって、いと幸せへの道を示しています」と語った。共に、このいのちを育んでいきたい。そして、共同体として証ししていきたい。

角谷 茂 氏

(門司教会)

長い間無神論者でありました私が、この度、受洗のお恵みを頂き感謝申し上げます。

神様は長い時をかけて、この私も導いてくださったのだと思います。月に一度、俳句指導で教会に通うようになっていた自分が信仰の一步を踏み出したのは、洗礼式までご指導頂いた主任神父様のおかげです。耳の不自由な私を常に気遣い、根気強く接してくださいました。信者の妻と娘の存在は大きかったのですが、神父様との出会いが私の「時」だったのだと今改めて思います。

これまで妻と娘の前に、どこか一人寂しさを感じてきた

計 報

福留シヅ子 修道女

(蹴足カルメル会)



3月27日、今津赤十字病院にて帰天。92才。修道生活62年。鹿児島県生まれ、福岡カルメル山の聖母修道院創立当初、最初の九州出身志願者として入会。祈りの人、エネルギーでユニーク、何でも徹底的にする人だった。料理が得意で長年炊事係をつとめ、2005年の硬膜下血腫の手術以来、病院や特別養護施設などで過ごし、ありがたう！ありがたう！と繰り返しながら、司祭・神学生のための生涯を捧げ尽くした。

【奉献生活者のための黙想会】

期 日：①2015年5月17日(日)～23日(土)
②2015年6月7日(日)～13日(土)
③2015年7月5日(日)～11日(土)
指導者：①染野治雄 神父 ②③来住英俊 神父
費 用：①50,000円 ②③54,850円
対 象：奉献生活者・一般信徒可

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 (9:30～16:30)・Fax 0940-32-3385
Eメール f-mokuso@fmokusou.com
インターネットで検索

福岡黙想の家

検索

【月例黙想会】

期 日：2015年5月9日(土)17時～10日(日)15時
指導者：染野 治雄 神父(福岡黙想の家主任)
費 用：8,700円(税込・指導料含む)
◆各黙想会の申込締切は開催の一週間前まで
◆詳細はお問合せください



ミサ用ワイン



ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草 苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下 株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

ー花祭りに際してー

核兵器のない世界に向けて



浄土宗・一心寺の永江住職（左）と宮原司教

生きとし生けるものを大切にすること」を基本とした仏教の倫理と、「隣人を自分のように愛しなさい」というキリスト教の大切な掟をもって、『核兵器廃絶を目指して核軍縮を進めるのに必要な世界共通の倫理』を築くために協力できる方法を探し求めましょう」と語られている。（メッセージの全文はカトリック中央協議会のホームページで読める。）

4月7日（火）、灌仏会（かぶつえ／花祭り）に際しての教皇庁諸宗教対話評議会から日本の仏教徒へのメッセージを届けるため、宮原良治司教は浄土宗・一心寺（福岡市東区）の永江憲昭住職（福岡市仏教会代表）を訪れた。釈迦の誕生を祝う「灌仏会花祭り」は毎年4月8日に行われる。

最後に「この有難さを忘れずに」との書の前で記念撮影をした。

福岡地区青年信仰養成：マルコ福音書の通読 4年



インターネットで世界・日本各地とつながり分かち合う

福岡地区青年会が発足当初から継続している活動の一つに、月例の勉強会がある。正確に言えば、その歴史は青年会よりも古い。まだ有志の集まりとして中高生キャンプ

インターネットで世界・日本各地とつながり分かち合う（FYCC）を企画していた頃、一人の青年が「みんなとキリスト教のことを学びたい」と言っており、青年会を立ち上げた。その後、正式に地区青年会を立ち上げた。

インターネットで世界・日本各地とつながり分かち合う（FYCC）を企画していた頃、一人の青年が「みんなとキリスト教のことを学びたい」と言っており、青年会を立ち上げた。その後、正式に地区青年会を立ち上げた。

気持ち新たに

ー教区立幼稚園辞令交付式と新任研修会ー



辞令を受けて、決意を述べる新任教諭

3月31日（火）、大名町教会講堂で福岡教区立幼稚園辞令交付式と新任研修会が行われた。始めに、宗教法人カトリック福岡司教区幼稚園の理事長である宮原良治司教による「みことばの祭儀」があった。司教は、「幼児教育に携わるカトリック幼稚園の教師が、神様の愛を豊かに受け、委ねられた子ども達一人ひとりにその愛を注ぐことができるように」と祝福の祈りを唱え、聖書が朗読された後、「新しい場所に出会う人々を大切にし、キリストの愛を伝えて

その後、宮原司教による講話があった。題は「カトリック幼稚園で働く教師の心構え」。司教は、「知ることと識ることの違いは、頭の中だけのことで実体験して身に付けることの違いである。いろいろな経験を積んで学び、学んだことを教育に生かしてもらいたい。また、キリスト教の精神も学び、子ども達に伝えてほしい。教育基本法のいう教育の目的は「人格の完成を目指すもの」であるが、人格は人格（ペルソナ）から来ているもの。一人ひとりの持つ人格を尊重し、神に近づける

その後、宮原司教による講話があった。題は「カトリック幼稚園で働く教師の心構え」。司教は、「知ることと識ることの違いは、頭の中だけのことで実体験して身に付けることの違いである。いろいろな経験を積んで学び、学んだことを教育に生かしてもらいたい。また、キリスト教の精神も学び、子ども達に伝えてほしい。教育基本法のいう教育の目的は「人格の完成を目指すもの」であるが、人格は人格（ペルソナ）から来ているもの。一人ひとりの持つ人格を尊重し、神に近づける

勉強会は様々な出会いと発見の場となったが、継続して関われる指導者がおらず、限界も感じられるようになった。丁度その頃、フィリピンで青少年司牧の養成に携わっていた平尾千衣子さん（現・福岡教区事務局職員）との出会いがあり、講師を頼むことになった。マニラから福岡に毎月出講：ではなく、インターネット電話を利用したテレビ会議のような形で、マルコ福音書の通読をすることになった。

時代背景や原語本来の意味を解説してもらい、話の構造（何と何が対比されているか等）に注意を払いながら読むことで、「イエスの存在が

よう支えてもらいたい。そのためにも生命を与え、生命を大切に神の愛を身に付けてほしい」と諭した。続いて、辞令交付式があり、新任の6人が司教より辞令を手渡された。新任教諭の代表者は、「カトリック幼稚園で働くことを誇りに思います。キリスト教の精神を培い、子ども達の成長に寄与して参ります」と力強く挨拶した。

その後、宮原司教による講話があった。題は「カトリック幼稚園で働く教師の心構え」。司教は、「知ることと識ることの違いは、頭の中だけのことで実体験して身に付けることの違いである。いろいろな経験を積んで学び、学んだことを教育に生かしてもらいたい。また、キリスト教の精神も学び、子ども達に伝えてほしい。教育基本法のいう教育の目的は「人格の完成を目指すもの」であるが、人格は人格（ペルソナ）から来ているもの。一人ひとりの持つ人格を尊重し、神に近づける

教会学校 合同黙想会

ー今村・本郷教会ー



黙想会に集った子どもたち

よう支えてもらいたい。そのためにも生命を与え、生命を大切に神の愛を身に付けてほしい」と諭した。続いて、辞令交付式があり、新任の6人が司教より辞令を手渡された。新任教諭の代表者は、「カトリック幼稚園で働くことを誇りに思います。キリスト教の精神を培い、子ども達の成長に寄与して参ります」と力強く挨拶した。

その後、宮原司教による講話があった。題は「カトリック幼稚園で働く教師の心構え」。司教は、「知ることと識ることの違いは、頭の中だけのことで実体験して身に付けることの違いである。いろいろな経験を積んで学び、学んだことを教育に生かしてもらいたい。また、キリスト教の精神も学び、子ども達に伝えてほしい。教育基本法のいう教育の目的は「人格の完成を目指すもの」であるが、人格は人格（ペルソナ）から来ているもの。一人ひとりの持つ人格を尊重し、神に近づける

その後、宮原司教による講話があった。題は「カトリック幼稚園で働く教師の心構え」。司教は、「知ることと識ることの違いは、頭の中だけのことで実体験して身に付けることの違いである。いろいろな経験を積んで学び、学んだことを教育に生かしてもらいたい。また、キリスト教の精神も学び、子ども達に伝えてほしい。教育基本法のいう教育の目的は「人格の完成を目指すもの」であるが、人格は人格（ペルソナ）から来ているもの。一人ひとりの持つ人格を尊重し、神に近づける

その後、宮原司教による講話があった。題は「カトリック幼稚園で働く教師の心構え」。司教は、「知ることと識ることの違いは、頭の中だけのことで実体験して身に付けることの違いである。いろいろな経験を積んで学び、学んだことを教育に生かしてもらいたい。また、キリスト教の精神も学び、子ども達に伝えてほしい。教育基本法のいう教育の目的は「人格の完成を目指すもの」であるが、人格は人格（ペルソナ）から来ているもの。一人ひとりの持つ人格を尊重し、神に近づける

佐賀市大和町にあるロザリオ幼稚園では園舎の移転新築工事を2年前から計画してきたが、7か月の工期を経てこの度神様のお恵みによって完成し、4月8日（水）新園舎の祝福式が宮原司教様の司式で行われた。

子どもたちを中心とした祝福式に続き、翌日9日の始業式から年長組に進級する園児とangel room（2歳児）の子どもたちが遊戯や歌を披露した落成式では、来賓の方々から温かい拍手が送られていた。

ロザリオ幼稚園は昭和45年に開園して以来、これまで45年のあゆみの中で神様の恵みによって発展を続け、3576人の卒園児を送り出している。

子どもたちが幸せな人生を送る基礎をつくるためのお手伝いと、地域の方々に愛される幼稚園づくりに励んでいる。



☆教皇フランシスコ講話集2 2014年内の発言を集めた教皇フランシスコの講話集。ヨハネ二十三世とヨハネ・パウロ二世の列聖式ミサ説教、聖地や韓国での講話や説教、そして、人間の弱さや陥りやすい悪を15の病として挙げ話題を呼んだ、教皇庁各省庁長官および議長への降誕祭のあいさつなどを収録。ペトロ文庫発行 1200円（税別）

☆聖フランチェスコの足跡 アッシジ・聖なる風景 酒井しようこ 著 800年の時空を越えて人の心に生き続ける聖人の息吹を一冊にまとめました。聖人を身近に感じる教会の売店、レストラン、修道院の宿も紹介。詳細なマップ付。アッシジ巡礼にはこの1冊を。サンパウロ発行 税込価格1944円

☆キリスト教とは何か① 復活の秘義をめぐって 粕谷甲一 著 「キリスト教とは何か」とは、それは、「生きることにある」という著者のことば通り、自身の幅広い体験を通し、あるいは時代を象徴する社会や、日常ぶつかるさまざまな出来事を取り上げ、キリストの福音の光のもとで、いかに生きるかを語っている。女子パウロ会発行 税込価格1296円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
株) ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

信仰の伝達

福岡教区ハンドブック 2015

「福岡教区ハンドブック 2015」が発行されました。
各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。

- ◆典礼暦、教区・地区の主な行事が一目で分かるカレンダー。
小教区・委員会で集いや行事を計画するときに便利です。
- ◆《信徒の心得》では秘跡や教会生活の基本を知ることができます。
- ◆《祈り》や《ゆるしの秘跡の受け方》に加え、今回新たに
《聖なる読書(レクチオ・ディヴィナ)》の手引きも掲載。個人やグループで
ご活用ください。
- ◆掲載されているミサ時間は変更になることもあります。

福岡教区 生活聖化委員会アンケート

教区「生活聖化委員会」は、《教区行事の典礼企画、推進だけではなく、礼拝行為が日常生活に浸透し、社会生活にも反映され、霊的な豊かさと共に宣教の力になることを目指す》ため、アンケートを実施します。①現場の状況を《聞き》②結果を分析して《吸い上げ》③具体的な実践をもって《活かす》。この3つのポイントを大切に、進めてまいります。

各小教区の協力をよろしくお願いいたします。

アンケート発送：4月28日 回答〆切：6月3日

改定出入国管理及び難民認定法
サバイバル・チェックリスト

日本カトリック難民移住移動者委員会 (J-CaRM) が『改定出入国管理及び難民認定法 サバイバル・チェックリスト』リーフレットを作成。このリーフレットは中長期在留者向けに法違反となって罰則を受けることを防ぐための情報を掲載したものです。現在は日本語版が難民移住移動者委員会のホームページより閲覧可。他言語版も近日中に掲載予定です。

<http://www.jcarm.com/jpn/topic/survey/201503jpn.pdf>

問合せ先：日本カトリック難民移住移動者委員会事務局

☎ 03-5632-4441 Mail: jcarm@cbcj.catholic.jp

社会司教委員会シンポジウム
『現代世界憲章から何を学ぶか』

日 時：6月14日(日) 13:30～16:30
場 所：鹿児島・ザビエル教会(鹿児島司教区カテドラル)
テーマ：「時のしるし」を見極める
司 会：郡山健次郎司教(鹿児島教区)
導 入：ホアン・マシア神父(イエズス会)
シンポジニスト：勝谷太治司教(札幌教区)、大塚喜直司教(京都教区)、松浦悟郎司教(名古屋教区)
主 催：日本カトリック司教協議会 社会司教委員会
問合せ先：日本カトリック中央協議会 社会福音化推進部
☎ 03-5632-4413 Mail: Social-concerns@cbcj.catholic.jp

CLC 信徒の使徒的養成コース

日 時：6月5日(金) 14:00～7日(日) 13:00
場 所：NPO 法人 いやしのさと なごみの家
(福岡県京都郡みやこ町国分 1396 番地)
テーマ：識別の霊性を養おう～成熟した共同体を目指して～
教会助言者：住田省悟神父(イエズス会)
参加費：10,000 円(資料代、宿泊費、食事代等)
主 催：九州合同 CLC
問合せ先：迫立 ☎ FAX 0930-33-2822

福岡地区 日曜日 18 時半の主日ミサ

仕事の都合などで主日ミサにあずかれない信徒の方々のために、福岡地区司祭たちが交替でミサ奉仕をしていきたいと考え、6月～7月を試行期間とすることになりました。その後については状況を見つめ、内外の声を参考に継続・実施することが相応しいかどうかを検討していきます。

6月7日～7月12日の日曜日 18時半～ 大名町教会小聖堂

福岡教区広報室アドレス
<http://fukuoka.catholic.jp>
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

5月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 5月

1日(金)～ 4日(月) 日本心身医学協会セミナー(空室15)
6日(水)～ 8日(金) 本田哲郎神父と語る会(空室20)
9日(土)～ 10日(日) 月例黙想会(参加者募集中)
15日(金)～ 21日(木) 援助修道会黙想会(空室20)
16日(土)～ 17日(日) 福岡黙想の家講演会黙想会
指導：遠山満神父 どなたでも参加できます。
25日(月)～ 26日(火) やすらぎ会(空室20)
*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com(アドレスを変更しました)
インターネットで検索 **福岡黙想の家** **検索** ➡

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：イエス、マリア、ヨセフが祈られた詩編
・日 時：5月14日(木) 10時～14時半
・内 容：詩編45、89(ルカ2・46～)
指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
問合わせ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
・次 回：6月11日(木) 詩編145、146、148
☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日 時：5月9日、23日、6月6日、20日
10時～11時45分
場 所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時～12時半(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい(問合せ先) ☎092・521・2503 蓮尾

◆祈りの集い・勉強会(日時) 5月9日(土) 14時から(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(指導) 澤田豊成神父(聖パウロ修道会)(問合せ先) ☎092・541・3730 松山

◆福岡ホスピスの会 勉強会(日時) 5月10日(日) 14時～16時(場所) 大名町教会4階会議室(講師) 二の坂保喜氏(にのさかクリニック院長)(テーマ) Let me decide(参加費) 会員500円 一般1000円(問合せ先) ☎092・791・7532 柴田

◆震災のための祈りのリレー(日時) 5月11日(月) ミサ6時半から(大分教区) タの祈り17時から(ウルスラ会(場所) 大分教会・ウルスラ会延岡修道院(問合せ先) ☎090・2305・5191 Br. 阿部(パウロ会)

◆グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 5月12日(火) 11時から(場所) 聖クララ寮(内容)

聖母マリアに捧げるグレゴリオ聖歌ミサ(問合せ先) ☎096・380・5686 堀才聖歌ミサ(問合せ先) ☎096・380・5686 堀

◆虹の会(子どもを亡くした親の会)(日時) 5月16日(土) 11時動物園入口集合(内容) 植物園散策(持ち物) 弁当・飲み物・敷物◆人数把握のために前日までに参加をお知らせください(問合せ先) 090・1162・6395

◆在世フランス人会集(日時) 5月17日(日) 14時(場所) 高宮フランシスコ会修道院在世会集会所(指導) ジョーンソン神父(カプチン修道会)(問合せ先) ☎092・843・5831 岩崎

◆カルメル在世会集(日時) 5月18日(月) 10時半から(場所) 福岡女子カルメル会修道院・テレサの家(内容) ミサ・講話(指導) 中川博道神父(カルメル会)(問合せ先) ☎095・828・2350 鶴池

◆福岡召命を共に祈る会(日時) 5月26日(火) 13時半(場所) カトリック大名町教会小聖堂(内容) ミサ(李昇炫新司祭司式)と話し合い(問合せ先) ☎092・921・4532 山口紀子

◆ラスキン・黙想と祈りの集い(日時) 5月29日(金) 19時45分から(場所) 大名町教会

小聖堂問合せ先 ☎090・2305・5191 Br. 阿部(パウロ会)

◆心の健康セミナー(日時) 5月31日(日) 14時から(場所) 福岡黙想の家ログハウス(テーマ) スピリチュアルケアの歴史と現在(講師) 小宮豊氏(精神科医)(参加費) 感謝献金(問合せ先) ☎0940・32・1173 矢田

◆美野島司牧センター あなたの勇気が路上のいのちを支えます! ◆ホームレスの方に手作りの昼ごはん 毎週火曜日 10時30分 ◆ホームレス支援夜回り 5月1日(金) 20時 ◆路上からアパートに入居した方を訪問 第4土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 M. コース神父

◆筑後地区宣教司牧評議会発足式(日時) 5月10日(日) 13時半(場所) 今村教会

◆北九州召命を共に祈る会(日時) 5月14日(木) 14時から(場所) 小倉教会(内容) 祈りと茶話会(問合せ先) ☎0949・24・9905 藤井

小聖堂問合せ先 ☎090・2305・5191 Br. 阿部(パウロ会)

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆佐賀祈りの集い(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難会)(内容) 「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(問合せ先) ☎090・3985・5209 松田

◆佐賀(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

◆熊本(日時) 5月13日(水) 10時～12時 毎月第2水曜日(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(問合せ先) ☎0952・30・8347 吉武

異 動

◆福岡教区修道女連盟の会長にSr.谷口厚子(聖パウロ女子修道会)が就任

編集後記

教区内司祭が総動員して司教様主式の聖香油ミサに与った。司祭叙階60周年と25周年の祝賀会もあった。ご復活祭に新しい神の子らの誕生もあった。新司祭叙階式も行われた。新任教職員も迎えた。教会学校も新たに始まった。その他いろいろ。おめでた続きの昨今である。信仰生活にも社会生活にも家庭生活にも新風が吹き心も一新される。これからだ、これから新しい毎日を歩んでいくのだ。つづじの花が春爛漫を見せている。季節も動き出した。神様とマリア様からの見守りがいつもありますように。新しい道を着実に歩んで行きますように。

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリーホール

業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター

六本松店・赤坂店 福岡メモリーホール

☎ 0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

内科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院

*入院基本料(一般病棟7:1)

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
<http://www.st-mary-med.or.jp>

一緒に働きませんか?
＝募集＝
医師・看護師・医療技術職

痛みの相談室
いくま整骨院

受付時間 平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F

TEL 092-884-0134

ペトロ 生熊吉古

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!

<http://www.paulus.jp>

パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために...



サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分・駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930